

(案)

公立大学法人金沢美術工芸大学
平成24年度 業務実績評価書

平成25年 8月

金沢市公立大学法人評価委員会

I 評価方法

1 評価の構成

「項目別評価」及び「全体評価」による。

2 項目別評価

ア 法人による自己評価

法人が作成した年度計画の最小単位の項目（以下「小項目」という。）ごとに、法人自らが、以下の4段階の区分により、その進捗状況を判断理由を付して評価する。

※ 年度計画の大項目第6から第10に関しては業務実績のみを記載

【評価基準】

評価区分	評 価 内 容
Ⅳ	年度計画を上回って実施している
Ⅲ	年度計画を十分に実施している
Ⅱ	年度計画を十分には実施していない
Ⅰ	年度計画を実施していない

イ 評価委員会による評価

(7) 評価委員会は、法人が行った自己評価の結果について妥当性を確認し、法人と評価の結果が異なる場合は、評価が異なる理由を示すものとする。

(イ) 評価委員会は、(7)の評価結果を踏まえ、法人の業務実績を総合的に検証し、中期目標の次の大項目（大学の教育研究等の質の向上に関する目標については中項目）ごとに、以下の5段階の区分により進捗状況を評価するとともに、特筆すべき点や改善が望まれる点についてコメントを付す。

- ① 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（教育に関する目標）
- ② 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（研究に関する目標）
- ③ 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（その他の目標）
- ④ 業務運営の改善及び効率化に関する目標
- ⑤ 財務内容の改善に関する目標
- ⑥ 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標
- ⑦ その他業務運営に関する重要目標

【評価基準】

評価区分	評価内容
S	中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある ※ 評価委員会が特に認める場合
A	中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる ※ 評価委員会の小項目別評価が全てⅣまたはⅢ(注)
B	中期目標・中期計画の達成に向けて概ね順調に進んでいる ※ 評価委員会の小項目別評価のⅣまたはⅢの割合が9割以上(注)
C	中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている ※ 評価委員会の小項目別評価のⅣまたはⅢの割合が9割未満(注)
D	中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある ※ 評価委員会が特に認める場合

(注) 目安であり、社会情勢等の変化による進捗の遅れや、小項目の比重を考慮して評価委員会で判断

3 全体評価

評価委員会において、「項目別評価」の結果を踏まえ、中期計画の進捗状況全体について記述式により評価する。なお、評価を通じて得られた大学運営に関する課題や改善事項等についても、併せて記載するものとする。

また、評価制度が大学運営の検証という役割に加えて、大学の活動状況を市民に公表する役割も担っていることから、大学の特色ある取り組みや工夫等については、積極的に評価するものとする。

II 評価結果

□ 全体評価

年度計画に定めた全ての項目が着実に実施されており、項目別評価においても全項目がA評価（中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる）であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

公立大学法人への移行後3年目となった平成24年度は、業務内容を充実させるために積極的に取り組む姿勢が随所に見受けられた。

以下に、大学の特色ある取り組みや工夫等として評価できるものを挙げる。

- ・ 教育の質の向上に関しては、産学・地域連携事業を多数実施し、実社会の活動を通じた実践的な教育を推進するとともに、地域の特性を生かした工房教育を実践するための新たな科目を開講したほか、学生の進路や就職活動等に助言指導を行う就職相談室を新たに設置するなど、学生の育成のために全学をあげて取り組んだこと。
- ・ 研究の質の向上に関しては、昨年度に引き続きアジア諸国との教育・研究交流等に取り組むとともに、故柳宗理氏に関する研究成果の活用に向け、「金沢美術工芸大学柳宗理デザイン研究所（仮称）」の運営に関する基本計画を策定するなど、特色ある研究活動の推進に積極的に取り組んだこと。
- ・ 社会連携に関しては、「東日本大震災復興における芸術の果たす役割」をテーマとしたシンポジウムの開催や、金沢市立病院との連携事業である「ホスピタリティ・アート・プロジェクト」の実施等、幅広く社会と連携した実践的な教育と共同研究を推進するとともに、これらの教育研究成果を社会に還元していること。
- ・ その他業務運営に関しては、「問屋まちスタジオ」での卒業生の活動を支援するため、新たな外部資金を獲得したこと。

□ 項目別評価

1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（教育に関する目標）

評価	A （中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる）
-----------	-------------------------------------

年度計画記載の 58 の小項目のうち、IV評価（年度計画を上回って実施している）が 2 項目、Ⅲ評価（年度計画を十分に実施している）が 56 項目と、全ての項目がIV又はⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

（特筆すべき点等）

○ 特筆すべき点

- ・ 教育的効果が期待できる産学・地域連携事業を 32 事業実施する中で、金沢の水パッケージやメガネフレーム等のデザインが実際に商品化されるなど、実社会の活動を通して実践的な教育を推進した。
- ・ 金沢の文化や環境など地域特性を生かした工房教育を実践するため、学内に基礎実習棟を新設し、社会環境に関する「造形表現工房Ⅴ」3科目を開講した。
- ・ 博士後期課程の学生が企画運営に参画した研究制作展「起動／プロセス」をアートギャラリー等で開催し、学生のマネジメント力を育成するとともに、外部の講評者から客観的な評価を受け、社会的信頼性と質の担保に努めた。
- ・ 高い資質を持つ学生を確保するため、新たに広島における芸術系進学相談会に参加するとともに、高校の修学旅行生を受け入れ、体験授業を実施するなど、積極的な学生募集活動を展開した。
- ・ 学生自治会との協議により、学内での喫煙・飲酒に関する厳格なルールを定めたほか、画材等を扱う売店の利便性向上を求める学生の要望に応え、プロポーザル方式により新たな売店業者を選定するなど、学内環境を改善した。
- ・ 学生の進路や就職活動等に専門的立場で助言指導を行うため、就職相談室を新たに設置し、キャリアカウンセラーによる定期的な就職相談体制を構築した。

2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（研究に関する目標）

評価	A（中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる）
----	-----------------------------

年度計画記載の 16 の小項目のうち、Ⅳ評価（年度計画を上回って実施している）が 1 項目、Ⅲ評価（年度計画を十分に実施している）が 15 項目と、全ての項目がⅣ又はⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

（特筆すべき点等）

○ 特筆すべき点

- ・ 芸術の振興・普及を促進するため、故柳宗理氏の業績の調査研究を継続するとともに、研究成果の活用に向け、「金沢美術工芸大学柳宗理デザイン研究所（仮称）」の運営に関する基本計画を策定した。
- ・ 世界に通じる芸術の研究拠点となるため、ミャンマーの若手染織プランナー等の受入れの実施や、アジアの伝統的ものづくりと先端的 IT 環境及びデザイン教育についてマレーシアで現地調査を行うなど、アジア諸国との相互交流を通じて、伝統的技術の共有と人的ネットワークの構築を図った。
- ・ 特色ある研究活動を推進するため、中長期的な研究活動に取り組める教員体制について検討を行ったほか、外部資金の獲得につながる研究を奨励するため、教員研究費の配分の見直しを行った。

3 大学の教育研究等の質の向上に関する目標（その他の目標）

評価	A（中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる）
----	-----------------------------

年度計画記載の 23 の小項目のうち、Ⅳ評価（年度計画を上回って実施している）が 7 項目、Ⅲ評価（年度計画を十分に実施している）が 16 項目と、全ての項目がⅣ又はⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

(特筆すべき点等)

○ 特筆すべき点

- ・ 金沢市立病院と連携して「第1回ホスピタル・ギャラリー展」を開催し、市民や患者の作品展示を通して地域に根ざした安らぎの空間を創造するとともに、医療におけるアートの潜在的な可能性について調査研究を行った。
- ・ 大学の知的資源の特性を生かし、社会の課題解決に貢献するため、「東日本大震災復興における芸術の果たす役割」をテーマとしたシンポジウムを五芸大との共催で開催し、「文化芸術」の力を活かし今後の活動を行っていく声明文を採択したほか、シンポジウムの内容を報告書としてとりまとめ、国内外に向け発信した。
- ・ 国際感覚豊かな教育研究活動を推進するため、ヨーロッパ、アジア、アメリカの各大学との間で教員や学生の交流を行ったほか、更なる交流内容の充実に向け、新たにナント美術学校（フランス）他2校と正式な交流協定を締結した。

4 業務運営の改善及び効率化に関する目標

評価	A （中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる）
-----------	-------------------------------------

年度計画記載の10の小項目全てがⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

(特筆すべき点等)

○ 特筆すべき点

- ・ 大学運営や教育研究活動を効果的かつ効率的に推進するため、学芸員1名を採用するとともに、新たに事務職員2名を公募するなど、平成22年度に策定した法人職員採用計画を着実に実施した。

5 財務内容の改善に関する目標

評価	A (中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる)
----	------------------------------

年度計画記載の 12 の小項目のうち、Ⅳ評価（年度計画を上回って実施している）が 1 項目、Ⅲ評価（年度計画を十分に実施している）が 11 項目と、全ての項目がⅣ又はⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

(特筆すべき点等)

- 特筆すべき点
 - ・ 財政基盤の強化を図るため、文部科学省科学研究費補助金の公募に 7 件の申請を行ったほか、大学の知的資産を活かした産学連携事業を積極的に推進し、32 件 22,692 千円の外部資金を確保した。

6 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

評価	A (中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる)
----	------------------------------

年度計画記載の 9 の小項目のうち、Ⅳ評価（年度計画を上回って実施している）が 1 項目、Ⅲ評価（年度計画を十分に実施している）が 8 項目と、全ての項目がⅣ又はⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

(特筆すべき点等)

- 特筆すべき点
 - ・ 広報力を強化し、大学のブランドイメージを高める広報戦略プランに基づき、「金沢美術工芸大学 VI (ビジュアル・アイデンティティ) 計画」を策定し、大学広報誌等に導入した。

7 その他業務運営に関する重要目標

評価	A （中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる）
-----------	-------------------------------------

年度計画記載の 16 の小項目全てがⅢ評価であり、中期目標・中期計画の達成に向けて順調な実施状況にある。

（特筆すべき点等）

- 特筆すべき点
 - ・ 「問屋まちスタジオ」での卒業生の活動を支援するため、新たに石川県民間非営利団体活動支援事業「地域連携促進事業」の補助金を獲得した。